

つなげてみませんか……
光の架け橋

HYOGO

EYE
BANK

公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クラリヒト



27

2023年度



公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クラリヒト

目 次

1	ごあいさつ	
	公益財団法人兵庫アイバンク理事長	片上千加子 …… 1
	ライオンズクラブ国際協会335-A地区ガバナー	山中 健 …… 2
	ライオンズクラブ国際協会335-D地区ガバナー	廣田 晃一 …… 3
	兵庫県眼科医会会長	古川 清実 …… 4
2	角膜移植とは ……	5
3	ご遺族様からの手記 ……	8
4	献眼篤志家合同慰霊祭を挙行了しました ……	10
5	角膜移植を受けられた方の喜びの声 ……	11
6	事務局だより ……	12
7	2022年度 事業報告	
	2022年度 統計 ……	13
	献眼者 ……	13
	啓発活動・講演会・講習会・学会発表 ……	13
8	賛助会員について ……	17
9	2022年度 寄附者 ……	18
10	登録について ……	21
11	兵庫アイバンク顧問・理事・評議員 ……	23



患者様、献眼者様の 思いをつないで

公益財団法人兵庫アイバンク 理事長
兵庫県眼科医会 監事
ツカザキ病院眼科

片上千加子

平成6年に設立された兵庫アイバンクは今年で29周年を迎えました。

設立にあたっては、兵庫県、神戸市、ライオンズクラブ335-A地区、335-D地区、兵庫県眼科医会、神戸大学、兵庫医科大学等多くの方々には、ライオンズクラブの例会、地域の病院や施設、学校等に出向いて啓発活動にご尽力いただき心から感謝申し上げます。

アイバンク活動は、角膜をご提供いただかなければ成り立ちません。角膜疾患のため視力が低下された患者様には一日でも早く視力回復の喜びを経験していただきたいのですが、昨今は角膜提供が減少傾向にあり、手術を待つ患者様はアイバンクに登録後、手術を受けるまでの待機期間は1～2年という現状です。

角膜をご提供下さいましたご本人、ご遺族の方の思いを尊重し、感謝申し上げながら、患者様の手術を施行させていただき、視力を回復された患者様の笑顔を拝見するのは、大きな喜びでございます。

視覚障害者様と献眼者様の思いをつなぐ温かいアイバンクを目標に、精力的に活動下さるコーディネーターともども、副理事長、常務理事はじめ役員の方々の心を一つにして活動を続けていきたいと考えております。

皆様のご理解、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会 335-A地区より

ライオンズクラブ国際協会335-A地区
地区ガバナー L.山中 健

ライオンズクラブ国際協会は、1917年にアメリカ・シカゴで誕生しました。以降「ウィ・サーブ（われわれは奉仕する）」をモットーとして掲げ、世界の国々で様々な人道的奉仕活動に取り組んでいる世界最大の奉仕団体です。世界では200以上の国と領域で約136万人、日本では約10万人2800のクラブ数、335-A地区（兵庫県東部）では約1600人67のライオンズクラブが活動しています。

ライオンズクラブは設立間もないころから視力障がい者支援に力を注いできました。角膜移植により失明された方の視力を取り戻せることは本当に素晴らしいことです。今後も継続して献眼登録の呼びかけに尽力していきたいと思っております。



ライオンズクラブ国際協会 335-D地区より

ライオンズクラブ国際協会335-D地区
地区ガバナー L.廣田 晃一

我々ライオンズクラブは誕生以来「We Serve (我々はみんなに奉仕する)」をモットーに世界で137万人以上を擁する国際的な奉仕団体となりましたが、視力保護事業はライオンズクラブにとって根幹を成す奉仕であり、永きに渡り取り組んできた活動の一つが、献眼推進事業です。1958年に「角膜移植に関する法律」が公布され、日本で献眼及び移植手術が正式にスタートしましたが、日本のライオンズクラブは同時代より普及活動に尽力し、以来半世紀以上にわたって献眼の啓発・推進に力を注いで来ました。これからも移植待機患者さんゼロを目指して世界中のライオンズメンバーが地域の皆様の健康に「We Serve」の精神を通して寄り添ってまいります。



兵庫県眼科医会より

兵庫県眼科医会 会長

古川 清実

兵庫県眼科医会の会長を務めさせていただいております古川清実と申します。

兵庫県眼科医会は兵庫アイバンクの設立当初より深くかかわっており、神戸大学眼科学教室、兵庫医科大学眼科学教室、ライオンズクラブ、などの方々とお互いに協力して兵庫アイバンクが角膜移植をコーディネート出来るようにお手伝いさせていただいております。

皆様御存じのように重篤な角膜障害を持っておられる患者様にとっては角膜移植以外に治療法はなく、現在も重篤な角膜障害により視力を失っている多くの患者様が角膜移植に唯一の希望を繋いでおります。その方々と、崇高な御意志をもって角膜を提供していただいている方々との間をコーディネートしてゆくのがアイバンクの使命であり、この事業に対し兵庫県眼科医会も全力でバックアップしてゆく所存です。

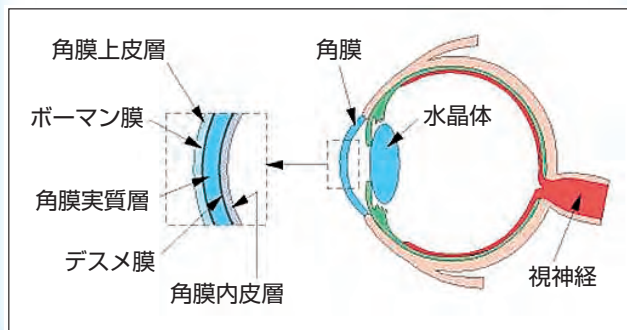
今後とも兵庫アイバンク、兵庫県眼科医会を何卒宜しくお願い申し上げます。



角膜移植とは？

角膜の働き

角膜は透明な5層構造の膜であり、眼球に光を取り入れる入口としての役割と水晶体とともにピント調節をする役割を持っています。病気やけがにより角膜が濁ってしまい角膜本来の透明性を失ってしまうと眼の中に光を取り入れることが出来なくなってしまいます。このような場合に角膜移植が必要となります。



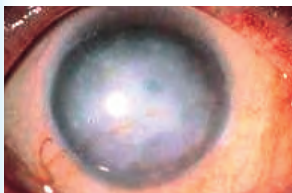
適応疾患

水疱性角膜症



角膜の裏側には内皮細胞という角膜の水分を汲みだすポンプの役目をする細胞層がありますが、この細胞の機能が低下すると角膜は水ぶくれ状態になりすりガラスのように濁ってしまいます。この状態を水疱性角膜症といいます。加齢でも起こりますが、眼の手術（白内障・緑内障手術など）により起こる事もあります。

角膜白斑



幼少期にはしかやトラコーマなどで炎症が起こり、角膜が濁ってしまった場合、または、角膜ヘルペスの治療後に混濁が残った場合、細菌・真菌感染などで角膜が薄くなったり混濁が残ったりした場合に角膜移植が必要になります。

円錐角膜

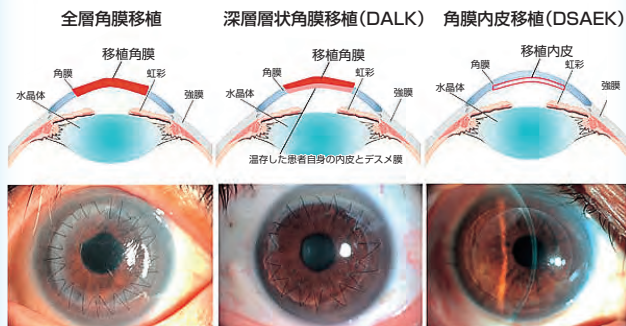


思春期に好発する角膜変性疾患で角膜中央部が薄くなり、前方に突出します。高度に進行しコンタクトレンズでは矯正視力が十分にでない、突出部に混濁が生じた場合に角膜移植が適応となります。



治療について

角膜移植の種類



全層角膜移植

角膜の混濁が強く内皮細胞も弱っている場合、角膜全層を切除しドナー角膜を移植します。最も基本的な方法で手技も安定しています。

表層層状角膜移植・深層層状角膜移植

内皮細胞の機能が残っている場合、濁った表層部分のみを切除しドナー角膜を移植します。内皮型拒絶反応の心配がありません。やや手技が難しく、手術中全層角膜移植に変更する場合があります。

角膜内皮移植

水疱性角膜症では内皮細胞のみが必要であり、角膜周辺部に開けた数ミリの切開創から内側の内皮層のみを取り除き、ドナー角膜を移植します。この数年前に開発された方法で角膜移植後の高度の乱視を防止でき、手術後早期から良好な視力が得られることがあります。



ご遺族様からの手記

前西 佳子 様(森田 静子様 次女)

私の両親がアイバンクに登録いたしましたのは、もう30年以上も前のことです。父は元々低視力で希望する職業に就けなかったようですが、政治や経済に関心を持ちながら仕事に邁進し、定年後は福祉関係の社会貢献活動に携わっていました。私は献眼するという行為は父らしい貢献のあり方と思っておりました。母もそんな父の勧めだったのでしょう。

父は喉頭癌を患い、2005年夏京都市内の病院にて息を引き取りました。81歳でした。私は主治医の先生に登録カードをお見せし、生前、献眼を希望していたことを伝えると、すぐに眼科に連絡して下さり、速やかに処理が行われました。

翌年の3月京都高台寺での感謝の集いに母と参列し、黙とう献花の後、父の名前が記された芳名帳が愛の光碑に納められたのを2人で感慨深く見守りました。京都生まれの母にとって高台寺は子供の頃から親しんだお寺であったようで、ご縁を感じていたのでしょうか。自分も必ず献眼して芳名帳に名前を記して頂いて父と一緒に納めてもらいたいと強く願うようになりました。

その母は2017年91歳の春、脳内出血で倒れ歩行が困難になって私と生活するようになりました。住所変更に伴いアイバンクの登録地域を移した際、母の希望等もお伝えすると担当の方は父のデータも調べて、とても親切に答えて下さいました。その時のホッとした気持ちは今もはっきり覚えています。それから5年半後の今年の2月、母は老衰で亡くなりました。ケアマネージャーさん、訪問診療医の先生、看護師さん、理学療法士の方々のサポートを受けながら自宅介護してきました。アイバンクの献眼についてご存じの方はいらっしゃいませんでしたが、私たちの要望をお話ししてからは角膜移植について興味を示し、独自に調べたりして下さいました。特に訪問診療医の先生は安心して献眼できるようにと事前に血液検査を実施して積極的に協力して下さいました。とても有難く思いました。



老衰の入り口と言われた頃からコーディネーターの方と連絡を取り合い、心の準備をしてその日に備えました。お蔭様で息を引き取ってから3時間後には処置を始めて頂き、無事眼球を摘出することができました。コーディネーターの方、眼科医の先生の優しいお言葉と細やかで丁寧な対応に心より感謝しております。

先日(2023年6月17日)の朝日新聞にベーチェット病の為に視力を失った女性が、角膜移植手術を受け、暗いグレー1色だった世界が色を取り戻しすべてのものが美しく見え涙が出た、という記事を拝読し、私は想像するだけで胸が熱くなりました。

どうかこの活動がもっともっと世に普及していきますことを願っております。そして一人でも多くの方に「見える!」という喜びがプレゼントされます様に心よりお祈り申し上げます。

拙い文章をお読み下さりありがとうございました。





献眼篤志家合同慰霊祭を挙行了しました

2022年11月20日(日)、平安祭典神戸会館にて、2022年度兵庫アイバンク献眼篤志家合同慰霊祭を挙致しました。従来であれば2年に1度の頻度で開催しており、2019年度に開催予定として準備しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止せざるを得ない状況となり、5年ぶりの慰霊祭開催となりました。5年間で59名の方とそのご家族の皆様の尊いご意思により献眼賜りましたこと、そしてこの度慰霊祭を挙行するにあたり、お集まりいただきました皆様や関係各所の皆様へ心より御礼申し上げます。





角膜移植を受けられた方の喜びの声

菊山 定治 はる子(妻) 様

拝啓

若葉の綺麗な頃になり、新緑が目にも染み入るいい季節になる頃に、突然に、日頃お世話になっている病院の方から、ある日の夜遅くに電話があり、即入院の運びとなり、2日後に手術をすることになり、今は順調に回復に向かっています。本人はもう高齢になり、他の移植ならいやですが、角膜移植ならと話を頂き、ただちに即答で返事をしていました。

お陰さまで今回の手術はもう最後になる事でしょう。

本当に角膜を提供して頂き、ありがとうございました。

心から感謝しています。

敬具

95才女性

梅雨の季節不順な日々が続きますが、皆々様にはお元気のことと存じ上げます。

この度は角膜移植を受けることが出来、ドナー様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

幸せをかみしめて毎日を過ごしています。

緑内障の治療を受けていた長い間に、幾度か手術して頂きましたが、視力が落ち、昨年より目のかすみが目立ち、失明の恐れもあり、視力の回復は半分あきらめていました。この度思いがけなく手術をして頂き、心より感謝しています。術後は痛みもなく、先生からも「良い角膜を戴いたね」とお言葉をいただきました。日々気持ちも軽くなり幸せ一杯で、家族や友人達にも、声に張りがでて、明るくなったと言われます。

朝夕、神仏にドナー様のご冥福をお祈りしております。

御家族の皆様にも厚く御礼申し上げます。

事務局長兼コーディネーター

渡邊 和誉



アイバンク事業について日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。眼球提供登録にて提供意思を表示しておられる方、眼球提供してもよいと日頃より考えておられる方、ご本人が眼球提供に際して拒否のご意思を持たれておらずご家族の総意によって眼球提供をしようと考えておられる方々の移植医療に寄与して下さるお気持ちを汲むべく提供時に対応して頂く医療機関の先生方を中心に、提供の意思を汲む活動が滞らないよう兵庫県臓器移植コーディネーターや組織移植コーディネーターらと協力、連携し活動しております。

我々アイバンクの活動の根源は、移植医療に対するご理解があり、次の医療に繋げてもらってもよいとされうる方への「いのちのリレー」をさせていただく事にあります。移植医療により光を取り戻される方、視力を維持し生活の改善に結びつかれる方のご報告を頂けることが何物にも代えがたい財産であります。そしてこの活動が兵庫県下だけの活動に留まることなく、近隣アイバンク間の連携強化・確立についてもより強靱なものとなるべく進めております。

一人でも多くの方の幸せと光を取り戻すことのできる感動をお届けするため、スタッフ一同、今後も鋭意努力して参ります。今後とも引き続き皆様方のご理解とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2022年度 事業報告

2022年度統計

		登録者	献眼者		
2022年	4月	1	1	開設以来累計 (2022年3月末) 登録者 17,615名 献眼者 492名	
	5月	1	1		
	6月	2	1		
	7月	3	0		
	8月	2	0		
	9月	1	0		
	10月	3	1		
	11月	1	1		
	12月	0	1		
	2023年	1月	3		4
		2月	1		2
		3月	2		2
合計		20	14		

献眼者

2022年4月1日から2023年3月31日までの間に、14名の方よりご提供いただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたしますと共に、深く感謝申し上げます。

啓発活動・講演会・講習会・学会発表

〈公益事業1〉眼球のあっせん等に関する事業

(1) 献眼する者の募集及び登録に関する事業

- ・登録パンフレットを県内医療機関、関係各所へ配布した。
- ・登録希望者への登録申し込みの受付、登録カードの発行を行った。
- ・定期的に献眼登録者の現況確認と整理を行った。

新規眼球提供登録者数 20人 (昨年度比± 0名)

移籍・取消者数 85人 (昨年度比-42名)



(2)提供される眼球の摘出、検査、保存及びあっせんに関する事業

- ・兵庫県下における医学的ドナー情報が30件（昨年度比+1件）あり、14名（昨年度比+1名）から提供頂いた。
- ・提供眼球（連携アイバンクとの実働含む）に対し医学基準に沿って検査・あっせんを行い、角膜移植術34件（昨年度比+5件）（内：角膜内皮移植術14件（昨年度比+5件）保存角膜13件）、強膜移植術及び緑内障手術に97件（昨年度比+31件）施行された。

（本年度あっせん施設：17施設）

あさざり病院・加古川中央市民病院・かなもり眼科・木村眼科内科病院・慶應義塾大学病院・神戸市立神戸アイセンター病院・神戸大学医学部附属病院・スワンカイバナ眼科クリニック・東京歯科大学市川総合病院・東京慈恵会医科大学葛飾医療センター・東邦大学医療センター大森病院・はりま姫路総合医療センター・兵庫医科大学病院・溝上眼科
(50音順)

- ・移植希望者の募集及び登録
移植を希望する医療機関より移植申し込みを受け、移植待機リストを作成した。

(3)献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発事業

- ・神戸大学医学部附属病院院内コーディネーター連絡会議（月1回開催）に渡邊が参加し、移植医療システムの構築及び啓発活動を行った。
- ・神戸市立医療センター中央市民病院臓器提供対策室会議に渡邊・中野・松井が参加した。（月1回開催）
- ・神戸徳洲会病院臓器・組織提供連携会議に渡邊・中野・松井が参加した。（月1回開催）
- ・西脇病院院内コーディネーター会議に渡邊・中野・松井が参加した。（月1回開催）
- ・兵庫県コーディネーター連携会議に渡邊・中野・松井が参加した。（月1回開催）
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため京都府立医大アイバンクの指導を行った。
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため（一財）奈良県アイバンクの指導を行った。
- ・アイバンク発展のために医学基準や運営連携の強化のため



(公財) 岡山県アイバンクの指導を行った。

- ・神戸大学医学部保健学科生対象の移植管理学の講義「移植コーディネーターの実務」を渡邊が行った。(4月18日)
- ・神戸大学医学部医学科・保健学科生対象の現代医療と生命倫理の講義「移植医療と権利について」を渡邊が行った。(5月17日)
- ・兵庫県臓器移植院内コーディネーター研修会に渡邊・中野・松井が参加した。(5月21日)
- ・神戸徳洲会病院臓器・組織提供シミュレーションに渡邊・中野・松井が参加した。(6月4日)
- ・日本組織移植学会(in京都)において渡邊が発表・中野・松井が参加した。(8月6日)
- ・日本組織移植学会コーディネーター合同セミナー(in京都)に渡邊・中野・松井が参加した。(8月7日)
- ・兵庫県臓器提供懇話会に渡邊・中野・松井が出席した。(9月30日)
- ・神戸総合医療専門学校にて「角膜移植とアイバンク」の講義を中野が行った。(10月4日)
- ・日本臨床眼科学会アイバンクセッションに渡邊が講師として参加した。(10月15日)
- ・公益社にてエンパーミング講習会に渡邊・中野・松井が参加した。(10月28日)
- ・ドナーファミリーの集い(in東京)に中野が参加した。(10月30日)
- ・献眼篤志家合同慰霊祭を開催した。(11月20日)
- ・神戸徳洲会病院移植フォーラムに渡邊・中野が参加した。(12月10日)
- ・神戸大学医学部附属病院移植医療フォーラムに渡邊・中野・松井が参加した。(12月5日)
- ・広島県院内コーディネーター研修会に渡邊が出席した。(12月7日)
- ・日本組織移植学会コーディネーター合同セミナーに渡邊・中野が出席した。(1月29・30日)
- ・角膜カンファランス2023(in横浜)において中野が発表・片上理事長・渡邊が参加した。(2月9日~11日)
- ・神戸徳洲会病院にて脳死判定シミュレーションに渡邊・中野・松井が参加した。(3月6日)



〈公益事業2〉 眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)機関誌の発行事業

- ・「クラーリヒト」を10月に発刊した。

(2)眼の衛生に関する啓発事業

- ・ホームページをモバイル対応も含めリニューアルした。
- ・生きがい創造協会にて「目の健康とアイバンク」について平松副理事長が講演した。(4月19日)
- ・加古川市立平岡北小学校にて「学童の視力低下と色覚異常並びに角膜移植と兵庫アイバンク」について平松副理事長が講演した。(7月26日)
- ・ライオンズクラブ国際協会335-D地区 GST・視聴覚合同セミナーに「知っておきたい目の病気と最新治療」で片上理事長が講演し、平松副理事長、渡邊が参加した。(8月18日)
- ・前島食品株式会社にて「角膜アルカリ外傷並びに角膜移植と兵庫アイバンク」について平松副理事長が講演した。(12月14日)
- ・兵庫県眼科医会設立70周年式典に片上理事長・平松副理事長・渡邊が出席した。(10月17日)
- ・播磨中央子ども園にて「幼児の視力と色覚異常並びに角膜移植と兵庫アイバンク」と題して平松副理事長が講演した。(1月31日)
- ・335複合地区GSTセミナーに出席「知っておきたい目の病気と最新治療」で片上理事長が講演し、渡邊が参加した。(2月13日)
- ・兵庫県眼科医会主催「目の健康講座とアルゼンチンタンゴコンサート」にて「角膜の病気と角膜移植」と題して片上理事長が講演し、平松副理事長が参加した。(3月19日)

〈その他〉

- ・定款に従い理事会・評議員会を開催し、企画立案・実施をした。
- ・アイバンク事業の拡大と将来性の担保に伴う活動ならびにコーディネーターの養成を積極的に行った。
- ・神戸アイセンター内にヒト組織専用ラボとして参入した。
- ・京都府立医大アイバンクを筆頭とする近畿圏におけるアイバンク活動の指導並び連携強化について積極的に活動した。
- ・(公財) 岡山県アイバンクとの業務連携により移植医療連携が強化された。

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは皆様からの善意やご協力によって事業が行われております。

現在、兵庫県内のみで約400人もの方が角膜移植を必要としているといわれ、事業の運営を円滑に行うためには皆様方の多大なるご支援が必要です。

皆様方に広くご協力を賜り、一人でも多くの方が一日でも早く社会復帰されることを願っております。

賛助会員にご賛同くださる方は会員規約および入会申込書をお送りさせていただきますので、事務局までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

兵庫アイバンク TEL 078-382-6046

賛助年会費

団体会員	1口	10,000円
個人会員	1口	3,000円

兵庫アイバンクでは、広く関係方面からの事業活動へのご支援を頂くための賛助会員制度を設けています。

当アイバンクの事業目的に賛同される企業、団体等の法人・個人の方は、年会費を納入されることにより、賛助会員となります。

お名前の表示について直近のお振込時にご承諾頂いた方を掲載しております。

(敬称略 入会順)

団 体

川西ライオンズクラブ
三田ライオンズクラブ
尼崎ライオンズクラブ
なかお眼科(中尾寛)
芦屋東ライオンズクラブ
阪神道路開発株式会社

大屋ライオンズクラブ
株式会社 外林ウエルネスサポート
バイエル薬品株式会社
明石セントラルライオンズクラブ
稲美ライオンズクラブ
株式会社 モリア・ジャパン

個 人

杉山 治代	吉田弘俊(吉田眼科)	森 榮枝	新川 園子	片岡 敏樹
竹内 静子	垣谷 珠美	小西 忠明	神澤 正三	吉澤 恵子
廣橋 岳登	田村 雅宏	小林 登	島津 穰平	小林 繁
岸田 秀樹	武田 邦治	吉田 英行	瀧本 和子	春木 陵人
小林美奈子	沖野 雅一	梶 征一郎	久斗 数廣	山本 和志
東 久夫	中谷 治雄	梶谷 郁雄	坂牧 弓絃	繁田 知宏
川市 明	船岡 康子	柳川 芳裕	保田 妙子	糟谷亜紀子
土肥 富幸	藤田 和子	田中 睦子	木村 滋子	匿名希望の方
長久 昌嗣	財家 一夫	竹内 清子	藤田 尚子	
前川 佳幸	財家 美鳥	藤田 一道	古林 晴臣(古林眼科医院)	
高島 康邦	市橋 紀夫	川村 素子	小山田 景子	

寄附者

(2022年4月1日～2023年3月31日まで)

眼科・診療所

(敬称略 五十音順)

諸先生方には、ご支援、募金箱設置にご協力をいただき、また、患者様より真心の募金を賜り深く感謝申し上げますとともに、ご芳名を掲載させていただきます。

明石同仁病院	木村眼科医院 木村稔	なかにし眼科クリニック 中西頼子	松原眼科クリニック 松原令
浅井眼科医院 浅井利通	木村眼科医院 木村良平	内藤医院 木村智子	溝上眼科 溝上淳二
あだち眼科 安達功	くるす眼科クリニック 来栖昭博	ないとう眼科 内藤公子	みどりの眼科クリニック 木戸啓文
眼科有澤クリニック 有澤忠雄	こづち眼科 小槌育美	中村眼科医院 中村貞彦	宮代眼科 宮代美樹
池田眼科クリニック 池田裕美	神戸百年記念病院 眼科	にしむら眼科皮膚科クリニック 西村雅史	村井眼科 小坂敏哉
今泉眼科 今泉正徳	近藤眼科医院 近藤和義 直士	平松眼科医院 平松邦夫	森眼科 森健司
うぐいす眼科 荒木敬士	坂牧眼科 柏木洋子	藤井眼科 藤井啓誠	安井眼科 安井紫都子
うまづめ眼科みはら 馬詰ひとみ	佐久川医院 曾谷領子	藤岡内科眼科医院 藤岡武人	山崎眼科 山崎小百合
おおすぎ眼科 大杉秀治	小児科神沢クリニック 神沢光江	藤澤眼科医院 藤澤直子	山名眼科医院 山名敬庸
長田眼科医院 長田温	新長田眼科病院 山中弘光	藤永眼科 藤永博	山本眼科 山本正朗
かごたに眼科 籠谷保明	スワカイけ眼科クリニック 上住尚志	ふじわら眼科 藤原由延	眼科皮膚科横谷クリニック 横谷健治
かつた眼科クリニック 勝田英人	たてやクリニック 楯谷直子	べっしょ眼科クリニック 別所弘朗	吉田眼科 吉田弘俊
金井眼科 金井清和	谷眼科医院 谷恵美子	宝青院眼科医院 小田豪	渡部眼科 渡部暁也
眼科多木医院 多木 大輔	綱島会厚生病院 綱島治子	前田眼科 前田圭子	匿名希望の方
菊地眼科医院 菊地雅史	兜坂眼科医院 兜坂法文	松田アイクリニック 松田聡	
木下病院 木下香代子	鳥羽眼科医院 鳥羽幸雄	松葉眼科医院 松葉沙織	

寄附者

(2022年4月1日～2023年3月31日まで)

団体・一般

(敬称略 五十音順)

ご支援賜りました方々に厚く御礼申し上げますとともにご芳名を掲載させていただきます。

秋山美貴子	奥村 繫夫	黒岩 良夫	高島 康邦
荒井 泰史	小野ひとみ	黒田久美子	瀧本 和子
安倍 朱美	小野 光江	クーパージョン(株)	竹内 清子
新 暁子	梶谷 郁雄	上月富美子	竹内 静子
池上 一夫	糟谷亜紀子	河野医科器械(株)	竹内 慎吾
池上 由規	数原 多作	小島 雅恵	竹谷トキヨ
池田奈美子	片上千加子	小谷 定子	竹中みどり
一隅運動極楽寺支部	角石りつ子	古東 茂美	多田 博子
市橋 紀夫	加藤 修子	小林 登	田中 睦子
伊藤 信夫	金田 祐幸	小林 英夫	谷口與志朗
稲美ライオンズクラブ	鎌田三知男	坂牧 弓絃	谷口 栄
井上 明	神澤 正三	坂本 慶子	谷口 朝子
井下 祥子	川市 明	坂本 博	田野敬伊子
岩國美貴子	河合 美和	佐々木 正	田野 卓也
上西 英樹	川崎 朱美	佐多 京子	田村 甫
後谷知世子	川満 晴美	参天製薬(株)	辻村かずみ
臼田 幸子	菅 由美	塩見 久子	土井けい子
打田 里美	岸田 秀樹	篠崎ひろこ	殿村時加子
内海 節子	岸本 泉	柴田 みどり	中井 章博
大井カズ子	岸本 智明	島田 昌子	中井 友枝
大垣 節子	北野 祥郎	清水谷善英	中田 和美
大崎美代子	北村 忠司	首藤 好美	中野 末子
太田 京子	絹川 一郎	神内 修	中野 兼良
太田 久之	木村さゆり	杉山 治代	中野 正子
大田美代子	木村 滋子	スナック恵	中野由美子
大寺 壽生	久斗 数廣	千寿製薬(株)	中西よし子
大屋ライオンズクラブ	久保八重子	副島 囃義	中原 良子
岡林 治子	熊谷 朋宏	園崎 仁	棗田 瑞代

並川 明子	古川 道子	(株)モリアジャパン
西尾 照代	星出美千子	森本 克幸
西口ひとみ	堀 保彦	森本 芙紗子
西田 功	堀口 清隆	保田 妙子
仁禮 丞二	H O Y A (株)	山下 真司
野原きみゑ	前川 佳幸	柳本 松野
バルティスファーマ(株)	正垣裕加子	山田 末廣
バイエル薬品(株)	正木美弥子	山根 みどり
橋本 紀子	榎井 重信	山平喜一郎
長谷川豊秋	増本 盛美	山本 京子
長谷川雅夫	松浦 力	山本 節子
秦 勝次郎	松浦 和子	山本二三夫
服部 二郎	松田喜代司	雪岡恵津子
花田 敦子	松田 仁清	横見ルリ子
濱田 基史	松田 康彦	吉田 英行
濱中 保博	松田 由佳	ライオンズクラブ
菱川 睦美	松本 米子	国際協会335-D地区
平戸 ヨウ子	見野 ちよの	キャビネット
廣橋 岳登	宮井正三郎	ロートニッテン(株)
藤 美代子	宮崎 茂雄	若松 健
藤江 敏弘	嶺山 敦子	渡辺 弥生
藤田 幸三	村井 純子	匿名希望の方
藤本 まり	村上 順子	
船岡 康子	村上 七生	
古川 知子	村原圭伊子	

当アイバンクは、2021年度に内閣府賞勲局より、公益のために私財をご寄附された方に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けており、寄附者様のご意向を確認の上、当アイバンクから内閣府に申請いたします。

●詳しくは、こちらまで

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp/support/ribbon>

登録について

- ・眼球（角膜）のご提供に年齢制限はありません。
- ・近視、遠視、白内障、緑内障の方でもご提供いただけます。
- ・登録していただく際に、検査などは一切必要ありません。

登録の手順

1. お電話またはメール (info@hyogo-eyebank.or.jp)でお名前ご住所等をお知らせ下さい。眼球提供申込書を送らせて頂きます。



2. お手元に届いた眼球提供申込書に必要事項をご記入の上、アイバンクまでご返送下さい。(近親者の欄の記入もお忘れなく)



3. 登録が完了いたしましたら登録カードを送らせて頂きます。財布などに入れて常時ご携帯ください。



* 登録の際に頂いた個人情報 は 厳重に管理させていただいており、アイバンク活動以外の目的に使用することはございません。

万一ご不幸があった時、眼球提供の事を思い出すことは難しいものです。

ご登録いただいている方でもご家族のご理解とご協力が必要です。

登録の際、よくご家族とお話いただき、お互いのご意志をお話してください。

万一ご不幸があった場合には

登録がなくてもご本人の意志・ご家族の承諾により
ご提供いただけます。



1. 万一ご不幸があった場合に、献眼を希望される場合はドナーホットライン

年中 無休で アイをアイを
0120-69-1010 にご連絡ください

年中無休で24時間コーディネーターが
対応させていただきます。



2. コーディネーターがご提供についてのご説明に伺います。

* 説明をお聞きになり、提供を辞退されても全く問題ございません。

* 摘出手術が始まるまではいつでも中止することができます。



3. 提供を承諾された場合は眼球提供・採血承諾書を作成し、眼球を提供していただけます。

摘出後は義眼を挿入するのでお顔は提供前とほとんど変わりません。



4. ご提供いただいた角膜による移植手術が行われます。

アイバンクのホームページにもアイバンクの情報、角膜移植医による目のお話など様々な情報を掲載させていただいております。是非一度ご覧頂き、ご活用下さい。

<https://www.hyogo-eyebank.or.jp>



2023年度 公益財団法人兵庫アイバンク役員

● 顧問 ●

齋藤 元彦
(兵庫県知事)

久元 喜造
(神戸市長)

高橋 政代
(株)ビジョンケア
代表取締役

藤堂 勝巳
(兵庫アイバンク
元理事長)

● 理事 ●

理事長

片上 千加子

副理事長

平松 邦夫

堀口 清隆

常務理事

五味 文

中村 誠

理事

秋山 美貴子

三條 真由美

田村 雅宏

中島 かおり

長井 隆行

浜原 正豊

廣田 晃一

藤本 久貴

古川 清実

細谷 友雅

山中 健

● 監事 ●

大石 麻利子

岡田 洋

● 評議員 ●

議長

太田 久之

副議長

山中 弘光

小林 登

小林 寛

高野 文男

瀧北 美智子

福田 恵太

増本 盛美

溝上 淳二

森本 克幸

(理事・監事・評議員 役職別五十音順 敬称略)

表題

「クラーリヒト」は
「透明な光」という意味で、
この「透明な光」を取り戻していただきたい
との願いをこめてつけられました。



.....
公益財団法人兵庫アイバンクだより
「クラーリヒト」
No.27

発行 2023年11月
発行所 公益財団法人 兵庫アイバンク
.....

設立協力団体

兵 庫 県

神 戸 市

ライオンズクラブ国際協会
335-A地区

ライオンズクラブ国際協会
335-D地区

兵庫県眼科医会

公益財団法人 兵庫アイバンクだより

クラーリヒト

献眼連絡先



0120-69-1010

〈年中無休・24時間受付〉

公益財団法人 **兵庫アイバンク**

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2 神戸大学医学部付属病院内

TEL 078-382-6046 FAX 078-382-6723

E-mail: info@hyogo-eyebank.or.jp

